CASE₁₃

株式会社 創新ワールド





COMPANY DATA

業 種 事業内容

コンサルティング業 経営塾運営、企業研修、異業種交流 会企画・運営支援

創 業 代表 者 所 在 地 従業員数

2002年4月 代表取締役齋藤貴之 川崎市高津区久本3-5-7 企 業 紹 介

「私達一人一人の自己実現と共に、顧客一社一社の黒字存続」をビジョンに、中小企業経営者向け経営塾の運営、企業研修などの業務に取り組む。600名以上の卒塾生を輩出した経営塾で蓄積された事例やノウハウを活かして、クライアントのニーズに合わせて徹底的にカスタマイズする、他社には真似の出来ない社員教育研修を展開している。



働くママ達が作り上げてきた、働き方のルールを明文化する



- ●これまで暗黙の了解だった働き方を就業規則に落とし込む
- ②子育て世代が「働きやすい職場」であるという強みをPRできる体制づくり

経営課題

Task

実務の中心を担う社員3名が幼い子どもを持つ 母親であることから、その時々で社内の独自ルールを策定し、暗黙の了解で共有。その結果、仕事が滞りなく進んでいれば休みや勤務時間も制限しないという就業スタイルに。社員は働きやすさを感じていますが、今後、異なる条件の社員が入った時のことを考えると、会社としての現状の課題を整理する必要性を感じていました。

取組概要

Approach

子育で中の社員には理想的な環境となっています。そのため、社労士からのアドバイスをうけ、新たな就業スタイルを作るのではなく、今ある働き方を法令に則ったものへと明文化する取組を実行。また、新たな社員の受け入れに向け、子育で世代が働きやすい職場であるという強みをPRできるよう、来年度の「かわさき☆えるぼし」の取得を目指し、取組を行っています。

実施効果

Effect

モデル事業の取組をきっかけに、社員全員で現状の課題や強みを考えることができ、働き方に対する意識改革に繋がりました。今後は、さらに女性が働きやすい職場環境をつくれるよう、来年度「かわさき☆えるぼし」認証企業になることを目指し、働き方のルールの明文化や、新しい取組の追加を進めていく予定です。

多様化する時代、 ルールを設けすぎない就業規則を

当社は実力のある素晴らしい社員によって支えられています。彼女達がもっとも働きやすい環境を提供することが第一であり、その考え方が、多様化するこれからの時代にもフィットしていくと考えています。法令に合わせてルールを作ることは大切ですが、一番は当社で働く社員のモチベーションを高めるようなものを作りたいと考えています。

代表取締役 齋藤貴之

今後の展開

- ・現状の働き方に則った就業規則の明文化
- ・「かわさき☆えるぼし」認定企業に向け た取組

社労士による取組評価

社員の家庭環境の変化に伴い生じるワークライフバランスの課題を、会社全体で「どのように取り組めば社員が働き続けられるか」ということを立ち止まり考え、試行錯誤されながら折り合いがつく地点を見つけられていました。そうした実態に応じた運用は、社員全員が同時期に産休を取るという必要に迫られて培われたものであり、特に、事業主の方が、社外の取引先企業等に対して、会社の実情を説明し協力を仰いだことが大きく功を奏していたように感じます。

